

# ボルト折損による車輪脱落事故 **523** 件!

平成15年4月～平成29年3月の期間において、523件発生



## 車輪脱落防止のための「日常点検方法」

1日1回、運行を開始する前に実施する点検です。日常点検をはじめとした定期点検の励行が必要です。



### 1 エアゲージを用いた点検

- タイヤに亀裂や損傷はないか。
- タイヤに異常な摩耗はないか。
- タイヤの残り溝は十分か。
- 空気圧は規定の範囲内にあるか。



### 2 目視による点検

- ナットに緩みはないか。
- ナットの脱落はないか。
- ボルトの出っ張りに不揃いはないか。
- 錆はないか。
- ホイールに亀裂はないか。
- ボルトが折れてないか。



### 3 ハンマーを用いた点検

- ナットの下に指をそえ、上面を叩いたときに、指に伝わる振動が他のナットと違って濁った音がしないか。

冬から初春の時期に集中して発生。10月から12月にかけて、夏用タイヤから冬用タイヤに交換する際のホイール・ナット締付け不良に注意しましょう。とくに気が付きにくい左後輪は、重点的に点検を!

# 点検整備を怠ると

## 車輪脱落・車両火災の恐れがあります

トラック・バスなどの大型車を保有される自動車運送事業者の皆さん、大型ドライバーの皆さん、重大な事故が多発しています。

# 事業用バスの車両火災事故 **246** 件!

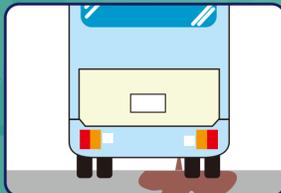
平成15年1月～平成28年12月の期間において、246件発生

## 車両火災防止のための「点検・整備の注意事項」

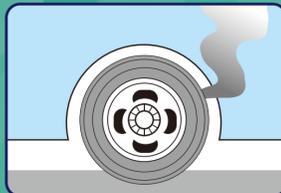
車両火災防止のためにブレーキ関係のゴム部品や燃料ホース等メーカー指定部品の定期交換を実施しましょう。



- バッテリーは確実に固定されているか。
- ターミナルに緩みや外れはないか。
- 配線の被覆にやぶれやむしれはないか。



- エンジンルームや路面に、オイルや燃料の漏れた跡はないか。
- 燃料が漏れたりした臭いはないか。
- エンジンオイルの量は規定の範囲内にあるか。



- パーキングブレーキの戻し忘れはないか。
- ブレーキの戻り不良はないか。
- 車輪から異常な臭いはないか。

点検整備時のミスが原因と思われる火災も発生しています。特に、エンジンの上や排気管の近くにウエス等の可燃物がないか注意しましょう。

点検整備しないと、火災になる恐れがあります!



車輪脱落や車両火災が起こる前には**必ず前兆が現れます**。  
日常点検と定期点検をしっかりと行い、車輪脱落や車両火災を防止しましょう。

詳しくはこちらをご覧ください



ストップ!!  
ザ・車輪脱落事故  
JAMA 一般社団法人  
日本自動車工業会

国土交通省 自動車点検整備推進協議会 大型車車輪脱落防止連絡会

[www.tenken-seibi.com](http://www.tenken-seibi.com)

